
全国高等専門学校 第19回プログラミングコンテスト 本選実施要項（参加要項）

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月12日（金）必着で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第19回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第19回プログラミングコンテスト
本選実施要項（参加要項）

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）	1
1. 1 主催・共催・後援・協賛	1
1. 2 事務局	1
1. 3 参加者	2
1. 4 審査委員	2
1. 5 会場案内	3
1. 6 日程	4
1. 7 提出書類	6
[1] 9月12日（金）必着分	
[2] 受付時提出書類	
1. 8 知的所有権について	7
1. 9 表彰について	8
1. 10 学生交流企画について	8
1. 11 会場使用上の注意点について	8
1. 12 宿舍・昼食・学生交流会・指導教員懇親会および会場への交通	9
1. 13 問い合わせ先	10
1. 14 著作物等の扱いについて	10
1. 15 その他の注意事項	10
2. 課題・自由部門についての連絡事項	11
2. 1 システムの搬入・搬出について	11
2. 2 プレゼンテーションについて	11
2. 3 デモンストレーションについて	12
2. 4 本選審査手順について	13
3. 競技部門についての連絡事項	15
3. 1 組み合わせ	15
3. 2 競技進行の概要	15
3. 3 競技部門の賞	15
3. 4 予行演習	15
3. 5 注意事項	15
3. 6 質問受付	16
付録1 会場案内図	
付録2 交通案内	
付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法	
付録6 デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル	
付録7 競技組み合わせ	
同意書	1通
システム等の調書	2通
課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例	1通
課題・自由部門 操作マニュアル表紙例	1通
競技部門 プログラムソースリスト表紙例	1通

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）

1.1 主催・共催・後援・協賛

主 催 高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会
第20回全国生涯学習フェスティバル実行委員会（福島県）

後 援 文部科学省、福島県、福島県教育委員会、いわき市、いわき市教育委員会、
(社)コンピュータソフトウェア協会、(社)情報処理学会、
(社)電子情報通信学会、教育システム情報学会、(独)情報通信研究機構、
(学)明星学苑 いわき明星大学、
NHK、福島民報社、福島民友新聞社、いわき民報社、FTV 福島テレビ、FCT 福島中
央テレビ、KFB 福島放送、TUF テレビユー福島、RFC ラジオ福島、いわき市民コミュニ
ティ放送（SEA WAVE FM いわき）、
福島工業高等専門学校後援会、福島工業高等専門学校同窓会、福島工業高等専門学校協
力会

特別協賛 東芝ソリューション(株)、富士通(株)、アルパイン (株)、(株)イーウェーブ、
(株)インテム、(株)オプティム、サイボウズ(株)、(株)神鋼エンジニアリング&メンテ
ナンス、スパイシーソフト (株)、チームラボ(株)、(株)トヨタコミュニケーション
システム、ネクストウェア(株)、(株)BCN、(株)ブロードリーフ、マイクロソフト(株)、
イマジンカップ (マイクロソフト (株))

一般協賛 アイフォーコム(株)、(株)インテリジェントウェイブ、(株)ヴァル研究所、
(株)C I J、(株) jig. jp、セイコーエプソン(株)、トヨタテクニカルディベロップメン
ト(株)、ニスコム(株)、日本SGI(株)、日本電気(株)、メガソフト(株)、(株) Lee.
ネットソリューションズ、(株)ルネサステクノロジ、(株)ワコム、総合警備保障(株)

1.2 事務局

大会事務局 独立行政法人 国立高等専門学校機構企画課内

委員会事務局 福島工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 20 チーム
- 自由部門 20 チーム
- 競技部門 58 チーム
- オープン参加 海外参加チーム 3ヶ国 5チーム
 - ベトナム国家大学 課題部門1チーム、競技部門1チーム
 - 大連東軟情報学院 課題部門1チーム、競技部門1チーム
 - モンゴル国立大学 課題部門1チーム

1.4 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 情報処理学会フェロー

審査委員

猪子 寿之 チームラボ(株) 代表取締役社長
臼井 支朗 理化学研究所 脳科学総合研究センター チームリーダー
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 教授
遠藤 直樹 東芝ソリューション(株) 技監
大岩 元 帝京平成大学 教授
大山 堅司 (株)ブロードリーフ 代表取締役社長
尾川 正美 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 専任部長
金澤 徹 (株)インテム 代表取締役社長
河村 浩之 (株)イーウェーブ ビジネスソリューション部 次長
國枝 義敏 立命館大学 教授
清水 洋三 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長
菅谷 俊二 (株)オブティム 代表取締役社長
高山 文雄 いわき明星大学 教授
高山 由 (株)BCN 最高顧問
田口 英美 (株)トヨタコミュニケーションシステム 取締役
ビジネスシステム本部 本部長
田中 達彦 マイクロソフト(株) デベロッパ&プラットホーム統括本部
アカデミック情報教育推進部 マネージャ
豊田 崇克 ネクストウェア(株) 代表取締役社長
松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 教授
松下 悟 (株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス システムエンジニアリング部長
三上 繁実 NHK 放送センター 放送技術局 報道技術センター
ニュース・ネットワーク 部長
三原 幸博 アルパイン株式会社 技術本部 ソフト開発管理推進室 室長
宮地 力 国立スポーツ科学センター 副主任研究員
山田 元康 スパイシーソフト(株) 代表取締役社長
山本 泰宇 サイボウズ(株) 執行役員
吉川 敏則 長岡技術科学大学 教授
久保 慎一 ネクストウェア(株) 人事推進部 部長代行
津曲 潮 デザイン・クリエイション(株)

(五十音順)

1.5 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については**付録1の会場案内図**または公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	児玉記念講堂 ホール
2. 課題部門プレゼン会場	講義館 106 講義室
3. 自由部門プレゼン会場	講義館 105 講義室
4. 課題部門デモ会場	児玉記念講堂 中2階踊り場・2階ホワイエ南側
5. 自由部門デモ会場	児玉記念講堂 中2階踊り場・2階ホワイエ北側
6. 競技部門会場	児玉記念講堂 ステージ
7. プロコン委員会本部	講義館 207 講義室
8. 選手・指導教員控室	人文系館 101 講義室
9. 審査委員室	本館 4階大会議室
10. 企業展示会場	児玉記念講堂 1階エントランスロビー
11. 大会本部（主管校事務局）	講義館 206 講義室
12. 報道関係者控室	本館 4階小会議室
13. 来賓控室	本館 3階来賓室
14. 高専関係者控室	本館 1階教員談話室
15. 福島高専教職員・学生補助員控室	講義館 102 講義室
16. 食堂・休憩所	厚生館
17. 海外チーム控室	講義館 307 講義室
18. 協賛企業控室	本館 1階教員談話室
19. 総合受付	児玉記念講堂 1階エントランス受付

1.6 日程

10月10日(金) 参加者受付

16:00～19:30 いわき産業創造館（ラトブ6F）企画展示ホールBで受付を行います。
（受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。）

引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

提出物については、「1.7 提出書類 [2] 受付時提出書類」をご覧ください。

10月11日(土)

- やむを得ず前日に受付ができなかった参加チームの引率教員は、会場で受付を済ませてください。
- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局（「1.13 問い合わせ先」参照）に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
7:00	7:30 開場 7:30～ 8:30 参加者当日受付	
8:00	(講堂 1階受付)	
	8:30～ 8:40 参加者連絡会議 8:40～ 9:15 システム搬入チェック (講堂 2階ホワイエ)	8:40～ 9:00 参加者連絡会議 (講堂 ホール)
9:00	9:15～ 9:45 開会式 (講堂 ホール)	
10:00	10:00～10:30 システムセッティング (講堂 2階ホワイエ)	10:00～13:00 予行演習 (講堂 ホール)
11:00		
12:00	10:00～17:00 プレゼンテーション審査 (課題部門：講義館 106 講義室) (自由部門：講義館 105 講義室)	
13:00		
14:00		
15:00	10:30～17:00 デモンストレーション 一般公開 (講堂 2階ホワイエ)	14:00～17:30 1回戦 (講堂 ホール)
16:00		
17:00		
18:00	18:00～19:30 学生交流会 (厚生館 学生食堂)	
19:00	19:00～21:00 指導教員懇親会 (いわきワシントンホテル)	
20:00		

10月12日（日）

	課題・自由部門	競技部門
7:00	7:30 開場	
8:00	8:00～ 8:10 参加者連絡会議 8:10～ 8:40 システムセッティング 8:40～12:00 デモンストレーション審査・ マニュアル審査 8:40～14:00 デモンストレーション 一般公開 (講堂 2階ホワイエ)	8:00～ 8:20 参加者連絡会議 (講堂 ホール) 8:20～14:00 敗者復活戦 準決勝 決勝 (講堂 ホール)
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 学生交流企画 特別講演 (講堂 ホール)	
15:00	15:10～16:00 閉会式 (講堂 ホール)	

1.7 提出書類

[1] 9月12日(金)必着分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成19年9月5日(金)から9月12日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、この公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配布するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項および見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「**発表要旨**」を、競技部門の本選出場チームは「**システム概要**」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願ひします。

(2) システム等の調書

調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。詳細については公式サイトでお知らせします。

[2] 受付時提出書類

課題・自由部門および競技部門の本選参加チームは、10月10日(金)の受付時に、下記書類を提出してください。作成にあたっては、下記のそれぞれの指示に従ってください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト(3部)

- A4用紙(縦置き横書き)に黒字で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のバインダーで綴じて、用紙が散逸しないようにしてください。
- バインダーの表紙と背表紙に部門名、発表順番号、タイトル、学校名を明記してください。

(2) 操作マニュアル(4部)

- A4用紙(縦置き横書き)とし、鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、本文10ページ以内で作成してください。
- 用紙の左上1箇所を綴じてください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。

【競技部門】

プログラムソースリスト（1部）

- A4用紙（縦置き横書き）に黒色で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のバインダー等で綴じ、用紙が散逸しないようにしてください。
- バインダーの表紙と背表紙に部門名、登録番号、タイトル名、学校名を明記してください。

各部門共通

著作物等の扱いに係わる同意書（各部門1通）

- 「1. 14 著作物等の扱いについて」に記載した内容（著作物等の利用に関する許諾）について、各部門ごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員および学生が署名し、受付時に提出してください。

プログラムソースリスト表紙および操作マニュアル表紙

- 表紙は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。

1.8 知的所有権について

作品の制作および発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。従来の例では、

- キャラクタの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は知的所有権についての理解が不十分と思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 最優秀賞 優秀賞	文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 最優秀賞 優秀賞	文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 優勝 準優勝 第三位 特別賞
特別賞 敢闘賞	特別賞 敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者、および競技部門入賞チームの各代表2名は、14時15分までに講堂 ホール1階客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。

1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、以下のような催しを行う予定です。

日程および会場の詳細は、受付時にお知らせします。

- プロコン！クイズ選手権
学生交流会で実施する予定です。
- 特別講演
- シール交換
シールに氏名や学校名を記載して「名刺」として参加学生間で交換し交流を深めます。

1.11 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 客席での飲食は禁止です。飲食は、食堂で済ませてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話・PHSの電源を切るか、あるいはマナーモードに設定してください。

1.12 宿舎・昼食・学生交流会・指導教員懇親会および会場への交通

宿舎

学生および引率教員の宿舎はいわき市平地区のホテルを予定しています。宿泊施設については9月19日(金)までに下記の旅行代理店からご連絡いたします。

昼食

昼食は、11日(土)と12日(日)の両日とも、厚生館の学生食堂で取ることができます。講堂客席(競技会場)での飲食は禁止です。昼食は食堂あるいは飲食可能な場所をお願いします。

学生交流会

10月11日(土)の18:00~19:30、厚生館学生食堂において学生交流会を開催いたします。参加費用は一人1,000円です。参加の申込みおよび会費の振込みは、既に宿泊案内とともに行っていたこととします。追加の申込については、下記の旅行代理店にお問い合わせください。

指導教員懇親会

10月11日(土)の19:00~21:00、いわきワシントンホテルにおいて指導教員懇親会を開催いたします。参加費用は一人5,000円です。参加の申込みおよび会費の振込みは、既に宿泊案内とともに行っていたこととします。追加の申込については、下記の旅行代理店にお問い合わせください。

会場への交通

本選前日(10月10日(金))は、「**1.6 日程**」で説明しましたように、16:00~19:30の時間に受付をしていただきます。いわき駅から受付会場までの経路につきましては、「**付録2 交通案内**」をご覧ください。所要時間は徒歩3分程度です。

宿泊を申し込まれた参加者は、本選期間中の2日間、プロコン事務局が用意した専用バスで会場と宿泊施設間を送迎します。

宿泊を申し込まれた参加者専用バス

10月11日(土) 7:00頃、宿舎から会場までお送りする予定です。

また、指導教員懇親会開始前および学生交流会終了後、会場から宿舎等までお送りする予定です。

10月12日(日) 7:00頃、宿舎から会場までお送りする予定です。

閉会式終了後は、いわき駅までお送りする予定です。

その他の交通機関については、本選会場の受付・総合案内にお問合せください。

追加および変更の場合

宿舎・指導教員懇親会については、既にJTB東北いわき支店よりご案内があったこととします。これらの件に関する追加・変更等は、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

JTB東北 いわき支店

「全国高等専門学校 第19回 プログラミングコンテスト」受付デスク

(担当：庄^{しょうじょう} 條、吉野)

〒970-8026 福島県いわき市平字田町41

TEL: 0246-25-4911 FAX: 0246-25-8163

営業時間：月～金 9:30～17:30 土日祝日は休業

1.13 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

問い合わせ先

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校 プロコン委員会事務局 学生課学生支援係
TEL: 0246-46-0735 FAX: 0246-46-0742
E-mail: jimul9@procon.gr.jp

1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類（作品紹介、応募内容ファイル）および9月12日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿（発表要旨、システム概要）、操作マニュアルは公式サイトで公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーションおよびデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオおよびプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中、コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開、およびプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様態・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、CD-ROM等で配布するとともに公式サイトで公開します。

1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材がある場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 本コンテストは、第20回全国生涯学習フェスティバルーまなびピアふくしま2008ー（文部科学省、福島県等主催）への参加企画の一つであり、出展した作品は、一般公開されますので、デモンストレーション一般公開中は必ず学生の説明者をつけてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、すでにご案内した通りです。参加校の最寄りの日本通運の営業所から連絡があり、見積りを依頼できますので、各校の実状に合わせてください。時期は、9月中旬の予定です。
- 課題・自由部門のシステム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に**梱包識別票**を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月10日(金)の午後にデモンストレーション会場(児玉記念講堂2階ホワイエ)に搬入されます。課題・自由部門の参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月11日(土)の8:40よりデモンストレーション会場で行ってください。
- 搬出については、10月12日(日)の14:00~14:30の間にシステムを梱包の上、**梱包識別票**を貼付して、業者に引き渡してください。
- **梱包識別票**は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

2.2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどを口頭で発表してください。
- 発表は一人で行ってください。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 機器は、パソコンの画面が表示可能なプロジェクタを使用できます。プロジェクタは640×480ドット(VGA)、800×600ドット(SVGA)、1024×768ドット(XGA)の解像度に対応可能です。接続推奨パソコンはDOS/V仕様で、接続可能なコネクタは「ミニD-SUB15pin」です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続および操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月2日付けで送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意のうえ遅れないように準備してください。

プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

システム搬入チェック 【10/11(土) 8:40~9:15】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

システムセッティング【10/11(土) 10:00~10:30、10/12(日) 8:10~8:40】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は**付録5**を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)と学校名を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 課題部門・自由部門の各作品は、机や参加者の椅子なども含めて幅200cm、奥行200cm、高さ220cmの範囲内にセッティングしてください。なお、机は幅180cm、奥行は最大90cmです。
- 掲示用パネルは幅180cm、高さ210cm、厚さ4cm程度の会場設備の衝立パネルを用意します。画鋏は使用してもかまいませんが、主催者では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。セロテープ等粘着性のあるものおよびネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、基本的に机の下に置いてください。納めきれない場合には、プロコン委員の指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも1口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、合計容量は約500Wです。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースには必要に応じて、LANケーブルを1本用意します。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

デモンストレーション一般公開【10/11(土) 10:30~17:00、10/12(日) 8:40~14:00】

デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。
- 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。
- 昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
- 情報交換の場として、積極的に利用してください。

デモンストレーション審査【10/12(日) 8:40~12:00】

- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
- 審査時間は、説明時間が5分、質疑応答が2分、計7分以内です。
- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。

マニュアル審査【10/12(日) 8:40~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。

デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

システムの搬出【10/12(日) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談のうえ参加者の責任で依頼してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評定

1. プレゼンテーション審査：A,B,Cの3段階評価をします。

独創性（最重点）、システム開発の技術力（プログラムソースリストを含む）、記述力、発表能力、有用性等を総合して評価します。

2. デモンストレーション審査：A,B,Cの3段階評価をします。

独創性（最重点）、技術力、有用性、操作性、発表能力、発表掲示、完成度等を総合して評価します。

3. マニュアル審査：正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階の評価をします。

正確性：A：マニュアルどおりに動作する。

A'：マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。

B：一部マニュアルどおりに動作しない。

B'：マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。

C：マニュアルとして不備が目立つ。

記述力：A、B、Cの3段階評価（わかりやすさなど）

II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成

一覧表に、各審査委員からの評定（A, B, C等）を入力します。

2. 点数換算集計表の作成

プレゼンテーション、デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。

A = 6, B = 3, C = 1 ; 各部門, 審査委員の評定を合計します。

マニュアルの審査評定は下記のように換算します。

正確性に関しては, A = 7, A' = 5, B = 3, B' = 2, C = 1

記述力に関しては, A = 3, B = 2, C = 1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。

3. 成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし、順位を算出します。

4. 選考の順序

以下の順序に従い、審査委員会で審議・合議の上、判断します。

(i) 最優秀賞, 優秀賞

得点のみの情報を提示し、上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに、上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞（最優秀賞）、優秀賞を決定する（新增沢方式）。

(ii) 審査委員特別賞

(i) で最優秀、優秀に選ばれなかったチームから、課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考する。

(iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか、審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢方式 (<http://www2s.biglobe.ne.jp/~MUNYS/gauss/gauss.html> より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

1 回戦の組み合わせは審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。審査委員に決めていただいたマジックナンバーは 2444 でした。決定した組み合わせは、「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

3.2 競技進行の概要

- ・競技は、1 回戦 7 試合、敗者復活戦 5 試合、準決勝戦 3 試合、決勝戦 1 試合により行います。
- ・1 回戦は 1 日目(10/11)、敗者復活戦・準決勝戦・決勝戦は 2 日目(10/12)に行います。

3.3 競技部門の賞

- ・決勝戦での成績により、優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- ・応募書類および競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時：10 月 11 日(土) 10:00～13:00

会場：競技会場

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 11 日 8:40～, @競技会場)で連絡します。

3.5 注意事項

オープン参加チーム(海外チームや中学生チーム)の状況やプロトタイプ製作の状況等により、一部のルール等について、これまでの案内から変更になっています。特に変更点や追加の連絡事項についてはプロコン公式サイトで確認しておいてください。

- ・付録 7 の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大 10 チームです。予行演習も最大 10 チームとなります。
- ・今大会では、1 回戦・準決勝・決勝に各 1 チーム、地元の中学生チームがオープン参加します。
- ・各ブースには、電源コンセントを 1 口以上(ブースあたり最大 150W 程度)用意します。
- ・マップや他チームの状況を参考情報として提供する情報提供システムを用意することになりました。詳細については、プロコン公式サイトで後日公開します。
- ・その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

3.6 質問受付

競技ルールについては、変更分も含めてプロコン公式サイトに掲載しています。これまでにお知らせした次の内容とともに再度ご確認ください。8/7(木)現在、プロコン公式サイト(<http://www.procon.gr.jp/>)から参照できる第19回大会のサイトには、次の情報が公開されています。今後の情報にも注意をしておいてください。

- ・部門のご案内「競技部門のご案内」、「競技部門追加情報」
- ・本選概要「競技部門のお知らせ」
- ・本選実施要項「競技部門についての連絡事項」
- ・FAQ「競技部門」

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、9月5日(金)17:00まで質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

問い合わせメールアドレス： jimu19@procon.gr.jp

- ・質問に際しては、質問者の高専名、所属、氏名を明記してください。
- ・質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開しません。